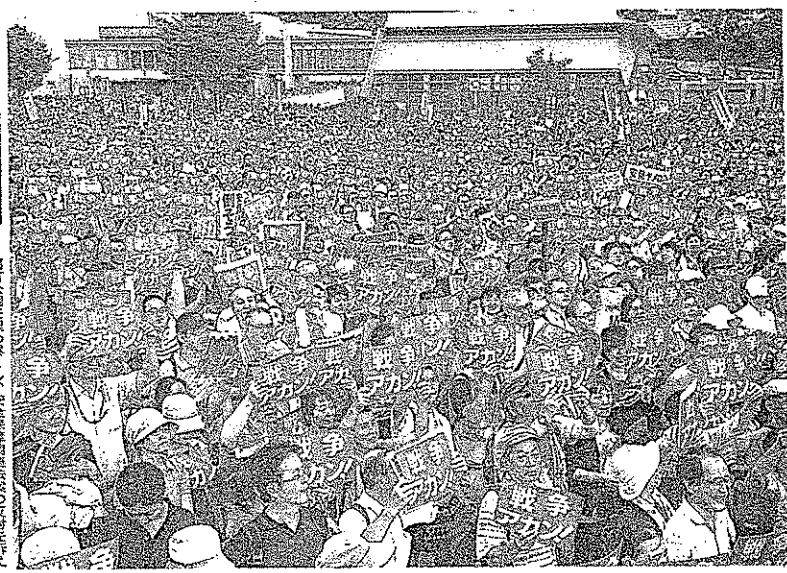


列島うねる声



大阪 大正公園を埋め尽くし、安全確保関連法案の反対を叫ぶ人たちが30日午後5時25分、大阪市北区、上田町駅前

学生、主婦：世代超え集う

政權へ、国会へこの風を届けたい。8月最後の日曜となった30日、安全確保関連法案に異議を唱える人たちが各地に集い、声を上げた。この夏、最前線の抗議行動。人海をもちろんで成り、5、6歳の子供まで参加した。

ウズデチ 安原国会

午後4時、小淵が降るなか、大阪市北区の野田公園。開かれてきたが、今回は最も多く集った。約1万5千人、野田公園では安原法案をめぐって何人も集会が



大阪 野田公園に集った人々のなかには主婦も多かった。広島市では、

大規模な集りがあった。福岡周辺の抗議集会と呼び、呼びかけ人は法学者ら100人以上。その一人となった大塚大井雄士会長(右)は「だまされて、騙されて、騙されて。参加者は3のグループに分かれ、集まりながら法案を訴えた。金沢市では約1800人(主催者発表)、高知市の高知城付近には約1500人(同)が参加。徳島市では共闘士会側の行動に約700人(同)が加わり、「解散せよ」とシュプレコールを叫び、高松市では約1000人が半一や大鼓を鳴りながら約2.5キロを走り、松山市でも「戦争法案廃止会」が開かれた。愛媛県松山市では約500人が参加し、兵庫黒崎町のJR姫路駅前でも大学生、主婦ら約170人が集った。奈良市では「戦争をさせない奈良1000人委員会」が主催する行動に約2000人(同)が参加。京都市東山区の円山公園には大学生や教員ら約1千人(同)が参加し、日光市では約2000人が自由平和をテーマにした集会をうたい法案廃止を求めた。



大阪 主婦 宮本千枝子さん(87)＝同市デモ行進があると新聞で知りました。5人の孫には、すくすくと育ててほしい。一人一人の自由な生き方を否定してしまうのが戦争。今ならまだ、声を上げることができます。



広島 主婦 松井麗さん(28)＝広島県廿日市市。2年前に娘が生まれ、「正しいと思うこと」をしようと考えたように。デモ参加は初めて。命を奪ったり、人を傷つけたりしてはいけない。戦争の「火種」を作らないのが一番です。



東京 保育園勤務 山根良子さん(63)＝同市。49年間、保育の現場にいます。今ほど将来に不安を感じたことはありません。子どもが幸せに育つための「平和」という一番大事な生活の土台が崩されてしまうと思いました。



大阪 会社員 島田広さん(47)＝同市。5歳の娘と10歳の息子が大人になった時、戦争に加わる園にたくない。そう思いました。たくさん人の悲しみの上に今の憲法ができたはず。それが解散廃止されるのは、やりきれない。



東京 会社員 牧野実裕さん(35)＝東京都目黒区(ギターを手に)帰省中です。友人がデモをするというのでお手伝いで。首相の「日本を守りたい」という気持ちは理解できますが、やり方が間違っているのではないのでしょうか。



大阪 主婦 吉川幸美さん(59)＝徳島県阿南市。国会を囲む人をテレビで見て、いてもたってもいられず……。憲法も守れない人が国会議員になるなど信じられない。住民運動で白紙になった吉野川可動堰計画のように何とか止めたい。



大阪 病院職員 谷野祥さん(33)＝同市。国会中庭を見ても、十分な受け答えを聞けない。法案が成立したら、急に「徴兵制をやる」と言い出す可能性はないのでしょうか。子どもたちに誰かを殺すようなことはしてほしくない。



徳島 無職 角村晃さん(81)＝同市。東京の波が空襲で焼けました。政府は国際環境が壊れたいという。でも憲法を破壊し、法案を強引に理解させようとするのはどうか。目は少し不自由になったが、今後でもデモや集会に加わります。

今ならまだ声を上げられる／人が集まれば変わるかも

安保法案をめぐる、30日に各地であったデモ行進や集会。参加した人たちに聞いた。「なぜ、あなたは声を上げに来たのですか」



大阪 元小学校教員 大口彰子さん(71)＝大阪府豊中市。学生やママたちが行動しており、「それなら行かなきゃ」と。憲法の自由が奪われ、戦争に突入した時代がありました。今のうちに声を上げないと後悔すると思いました。



大阪 自営業手伝い 上原純枝さん(48)＝同市。沖橋の家系です。法案反対の声があまり報じられていないように思えます。多くの人が集まれば、波が変わるかもしれない。自分が参加することで、少しでも何かが変わってほしい。



長門 介護士 板木明美さん(69)＝同市。仕事で軍隊経験を持つお年寄りから話を聞いています。多くの批判があるのに法案は衆議院を通った。日本が泥沼に足を踏み入れないよう、おばあちゃんの立場からも止めなくては。



大阪 自治体職員 田中英伍さん(30)＝奈良県宇陀市。ここで叫んだとしても、国に届くかは分からない。以前は自民党を支持し、今でも安倍政権の全てを否定するわけではありません。しかし、安保法案は強引だと思えます。



大阪 大学4年生 相方未来さん(22)＝京都府宇治市。小さい頃から両親とデモに来ています。直接的な効力はないかもしれない。でも「次の選挙で当選させない」「常に監視してるぞ」という意思表示の大切さを学びました。



大阪 会社員 山崎昭彦さん(44)＝同県東近江市。サラリーマンやお父さん世代があんまり表に出ていないなあ、と情けなく思っ。自分が参加したことでもどうなるわけではないけど、少しでもこの動きが広がってほしい。



大阪 訪問ヘルパー 山本哲也さん(69)＝同市。戦争を認める法案が通って迷惑するのは弱い立場の人たち。デモの参加は学生以来ほぼ40年ぶりですが、今回は行動しないとダメと思った。国会で可決されても声を上げ続けます。



法案反対のデモ行進に約1000人が参加した。野田公園の集会も

9/31 朝日